

# 平成 22 年度 南宮中学校 の基本計画

## 1. これまでの経過

本校には、これまで

- ・豊かな思考力・創造力を育てよう。
- ・思いやりと感動のできる心を育てよう。
- ・耐えてやりぬく実践力を育てよう。
- ・健康でたくましい身体を育てよう。

という学校教育目標が定められ、更にこれを具体化するという視点で平成 13 年度より、「目指す生徒像」から「目指す学校像」、そして「各学年の重点」等と多岐にわたる目標が据えられてきた。しかし、この結果から視点が曖昧になったりする問題点が生まれた。

そのような中で、平成 21 年度より今の本校の生徒を見つめなおし、これからの目指す生徒像から新たな目標また重点を据えていくこととなった。

## 2. 目指す生徒像と学校教育目標について

教育基本法及び学習指導要領にて謳われている目指す姿は、以下のように列挙することができる。

- ・ 個を尊重する
- ・ 社会全体の利益、向上を目指す
- ・ 真実を追究する
- ・ 正しい判断力をもつ
- ・ 豊かな人間性と創造性をもつ

また、学校自己評価から明らかになった本校生徒の姿から「目指す生徒像」と「学校教育目標」を以下のように設定した。

### [ 目指す生徒像 ]

- ・ 一人ひとりを大切にし、より豊かな集団の一員になろうとする生徒
- ・ 常に正しい判断ができ、行動する生徒
- ・ 困難に立ち向かい、創意工夫して解決に当たる生徒

### [ 学校教育目標 ]

学び合い、磨き合い、支え合って、共に高め合う生徒の育成

## 3. 具現化に向けて

上記のような柱を据え、それを基に本校の教育活動を洗い出すことによって、以下のような視点を決めだすこととなった。

- ・ 安心して学び合える学習集団の創造
- ・ 3つの重点「あいさつ」「清掃」「歌声」の更なる充実
- ・ 進路学習を中核とした総合的な学習への取り組み
- ・ やりがいのある専門部活動の実現

そして、これらの学習活動の推進のために、以下のような3点を大切にしていくこととした。

- ・ 「関わり合い、学び合う授業の在り方」をテーマとした全校研究
- ・ スポーツ活動運営委員会、体験学習 等を充実させるための保護者との連携
- ・ 個に応じた指導をさらに充実させることを目指した生徒指導と不登校対応の在り方

さらに平成 22 年度はこの中から以下の2点を最重点として指導に当たる。

- ・ 生徒一人一人を大切にした指導・・・特別支援の必要な生徒への指導の体制の工夫・教育相談の充実(時間・場の設定)
- ・ 新指導要領を見ずえた総合的な学習の本校での位置づけ  
(3年間見通した内容・つける力の見直し・地域や進路を中核とした活動)

以上のような経過から、次ページのグランドデザインを据え、平成 22 年度南宮中学校の基本計画とする。